



# 市総合防災訓練

Photo  
Report

8月20日(日)、全市民(全町内会)を対象とした市総合防災訓練が行われ、関係機関を含め約6千人が参加しました。

今年の重点項目は「安否確認」、「避難行動要支援者の支援」、「拠点避難所の運営」の3点。市民は午前8時の緊急地震速報を合図に、町内会ごとに定められた一時的避難場所へ避難しました。そこで避難状況を把握し、所在が不明の世帯を対象に、家を見に行くなどして安否を確認。さらに多くの町内会では消火訓練、炊き出し訓練、資機材運用訓練などの個別訓練も実施しました。

一時的避難場所での活動終了後は、市内10カ所の避難所へ集団避難。今回は市役所が被災し、避難所を運営できない事態を想定し、地域住民の手で開設・運営する訓練を行いました。併せて、避難所ごとに救急救命訓練や段ボールベッド組み立て訓練などの体験訓練を行い、災害時の行動を学びました。いざという時に正しい対処ができるよう、今回の経験を忘れないようにしましょう。



広報写真アルバム  
2次元バーコード



訓練は5カ年計画(平成26年度～30年度)で実施。今回の訓練での成果や課題を検証し、今後の活動に生かしていきます。

- ①避難所に到着後、避難者カードを記入
- ②応急担架組み立て訓練
- ③救急救命訓練
- ④バケツリレーでの消火訓練(郷町個別訓練)
- ⑤段ボールベッド・間仕切り組み立て訓練
- ⑥防災気象情報講座
- ⑦京都府城陽市との応急給水応援訓練
- ⑧災害時の新聞紙活用方法講座